

平成 30 年度 ケアマネジャー学習会

場所：医療法人平成博愛会

博愛記念病院 5 F 講堂

日時：平成 31 年 3 月 16 日 14:00～

徳島県介護支援専門員協会 施設委員会では「看取りケア」をテーマにケアマネジャー学習会を催しました。当日は県内で活躍されているケアマネジャーの他、多職種から 38 名がご参加くださり、医療法人昭和の杜 木下ファミリークリニック 木下 英孝先生を講師にお招きしました。「理想の看取りを目指して ～人生のハッピーエンドを支えるために～」と題した講演では、『健康を支える・自立を支える・幸せを支える・最期まで支える』をモットーに在宅や高齢者施設でたくさんの看取りケアに携わってこられたご経験から、終末期には多様な価値観を尊重することがまずは大切。主治医をはじめ看護師や介護士、ケアマネジャーなど専門職は風土、風習、文化、思想、死生観を多角的に理解して、それぞれの地域で看取りの文化を醸成することが大切とご教示くださいました。加えて看取り期の観察と対処の実際や、苦痛のサインを見分けるコツについても触れられ、人生のエンディングを考える事を通じて自分を見つめ直し、より良く生きるための活動から人生のハッピーエンドを目指そうとご講演くださいました。講演後の質疑応答ではグループホームやサ高住での看取りの過程について尋ねられ、抱えていたモヤモヤが晴れたと言われた方や、ご自身が担当されたケースで木下先生と協働された実践について感謝を述べる方もおられました。

個人の終末期の在り方と専門職の関り方については多方面からクローズアップされており、人生の最終段階における医療と介護は先般、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）から「人生会議」の愛称が公表されたことを受け、ACPの普及啓発と認知度の向上が促進されることが期待される中、ケアマネジャーにおいては、より専門性の高いケアマネジメントの実践が大切になります。これからも徳島県介護支援専門員協会では現場に直結するテーマで学習会を催し、ケアマネジメントにおける幅広い知識、見識の習得に役立てていく機会を提供して参ります。

木下先生、貴重なご講演まことにありがとうございました。

施設委員会：伊庭 利光

